

議会は見ている

不安を払拭し成長産業に



大しめなわ創作館外観



大しめなわ創作館に

議論集中

9月28日の竣工式に向け、大しめなわ創作館の設置及び管理条例が、最終日には指定管理者の指定について議案が追加提出されました。付託された教育経済常任委員会では、いずれの案件にも疑問・意見が集中しました。

およそ1億7000万円もの資金を投入した施設をどのように管理・運営していくのか納得のいく説明がなかったこと、あるいは指定管理者として提起された飯南町注連縄企業組合(前身は「飯南町しめなわクラブ」)のこれまでの実績今後の活動

計画、後継者の有無などが、町執行部から明らかにされなかったことにより事業実施に不安があるというものです。

一昨年の12月議会に、飯南町しめなわクラブより、「これまで旧町立体育館で作業してきたが、町道改良により取り壊され、作業場所がなくなるため、代わりの施設をつくってほしい」という陳情が提出されました。議会は、全会一致で陳情を採択しました。

施設整備計画にあたり、しめなわ文化伝



しめなわの製作作業

承や観光施設として活用する案が盛り込まれ、建設場所も変更されたことにより、事業費は肥大し、25年3月議会に提出された予算にも議論が集中しました。

議会は、「しめなわクラブの詳細な実績・今後の活動計画、後継者の有無を明らかにするよう」求めましたが、町執行部から明確な回答は得られず今日に至っています。

9月定例議会での疑問点は、管理・運営に関して「他団体の利用料の規定があるものの、全館の年間利用料を企業組合が負担

するため、他団体の利用が損なわれるのではないか」というものが中心でした。

指定管理者の指定についても、企業組合の経営・会計に関する質疑や意見が相次ぎました。

施設が観光施設としてはもちろん、企業組合の健全な成長と、雇用拡大につながる

ことが重要です。

不安を払しょくし、健全な創作館運営を目指し、投資が有効活用されなければなりません。

町政を問う

一般質問

9月定例会



高橋 英次 議員

Q 赤名の医療体制の将来は

飯南町には、頓原に飯南病院、来島に来島診療所、また志々谷地区にはそれぞれ出張診療所の公的機関のほか、赤名地区には内科医院、頓原地区には歯科医院と二人の先生が開業医として、私たちの生活を

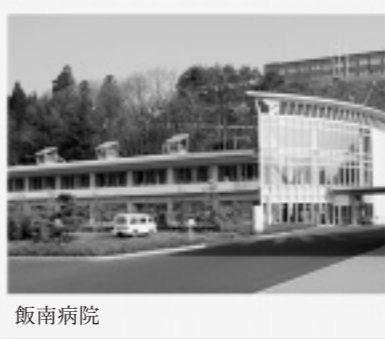
見守っており、感謝している。こうした医療体制の中で、民間の医療施設しかない赤名地区の医療を、今後どのように構築し、地域住民の不安を払拭していくのか。

A 医療体制構築に引き続き努力

町長 山崎 英樹

飯南病院は、救急医療の維持・充実、高齢者医療への対応、予防医療への取り組みの3つを診療の柱としている。

高齢化率40%を超える町ならではの「在宅医療の推進」と「施設との連携」により、飯南町の特徴を生かした地域包括医療・ケアを充実させるとともに、在宅療養支援に力を注ぎ、住民が生きいきとして安



飯南病院

らかな生活を送れるよう努力している。

また、開業医の和田先生、福岡先生には、町民の皆さんの診療にご尽力をいただき、ありがとうございます。

こうした中で、赤名で開業されている和田先生には、かねがね年齢や体調のお話も伺っており、将来に向けてはそうした時期も来ると思う。

一方、飯南病院では、来年度となる医師がおり、その後の体制づくりについて島根県の力をいただきながら検討している。

将来に向け、想定される状況も念頭に置きながら、本町へ医師の招へい、医療体制の充実に、引き続き全力を尽くしていく。

議会全員協議会の議題

7月25日

- ①頓原基幹支所に関する要望(報告)
- ②出納事務追加報告
- ③防犯灯のLED化
- ④雲南の地酒で乾杯を推進する条例(案)の説明
- ⑤町長不在(8/25~8/28)

9月2日

- 報告事項1~9・12
- ①告知放送の不手際
 - ②角井地内火災(誤報)
 - ③放射性セシウムを含む堆肥処理
 - ④有害鳥獣被害対策
 - ⑤町有自動車事故
 - ⑥地域おこし協力隊
 - ⑦町道における事故
 - ⑧酒づくり交流館の指定管理者(赤名酒造)の経営継承
 - ⑨飯南町交流物産館の経営状況
 - ⑩飯南町大しめなわ創作館
 - ⑪飯南町ふるさとの森の指定管理の考え方
 - ⑫雲南の地酒で乾杯を推進する条例



9月18日

- 報告事項2~7
- ①頓原肥育センターの利用計画に関する説明(JA)
 - ②スクールバス導入
 - ③瑞穂高野インターアクセス期成同盟会活動報告
 - ④庁舎基本設計
 - ⑤「頓原基幹支所」、「公民館」に関する自治体アンケート結果
 - ⑥源泉税の納付
 - ⑦H26年度飯南町総合振興計画後期基本計画評価委員会の評価結果
 - ⑧公共施設等総合管理計画及び新地方公会計の説明
 - ⑨広島8月豪雨災害に対しお見舞すること